【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公開番号】特開2012-83664(P2012-83664A)
【公開日】平成24年4月26日(2012.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2012-017
【出願番号】特願2010-231839(P2010-231839)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｌ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ａ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｑ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６７０Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月10日(2013.10.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画面の表示領域毎にバックライト設定が行える映像表示装置であって、
前記表示領域毎にバックライト設定値を設定する設定手段と、
前記設定手段によって前記表示領域毎に異なるバックライト設定値が設定された場合に、当該設定されたバックライト設定値に基づいて、画面の表示領域の境界部で色再現性が所定以上低下する領域を判定する判定手段と、
前記色再現性が所定以上低下する領域が識別可能なように画面に表示を行う表示制御手段を備えることを特徴とする映像表示装置。
【請求項２】
前記判定手段は、境界部の判定テーブルを用いて、画面の表示領域の境界部で色再現性が所定以上低下する領域を判定することを特徴とする請求項１に記載の映像表示装置。
【請求項３】
前記判定テーブルは前記バックライト設定値に対応した前記色再現性が所定以上低下する領域の幅情報を保持しており、
前記判定手段は前記境界部に隣接する表示領域のバックライト設定値の情報から前記判定テーブルを用いて、前記色再現性が所定以上低下する領域の幅を判定することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の映像表示装置。
【請求項４】
前記バックライト設定値は、輝度、色温度の少なくともいずれかを示す値であることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の映像表示装置。

【請求項５】
前記判定手段により判定された前記色再現性が所定以上低下する領域の情報を、前記映像表示装置に接続された映像出力装置に通知する出力手段を備えることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の映像表示装置。
【請求項６】
請求項５に記載の映像表示装置と、
前記映像表示装置から前記色再現性が所定以上低下する領域の情報を受信し、画像ウィンドウの表示位置又は表示サイズを調整する調整手段を備える映像出力装置と、を備えた映像表示システムであって、
前記調整手段は、前記映像表示装置から通知された前記色再現性が所定以上低下する領域に前記画像ウィンドウが表示されない表示位置又は表示サイズに変更した映像信号を前記映像表示装置に出力することを特徴とする映像表示システム。
【請求項７】
画面の表示領域毎にバックライト設定が行える映像表示装置の制御方法であって、
前記表示領域毎にバックライト設定値を設定する設定ステップと、
前記設定ステップによって前記表示領域毎に異なるバックライト設定値が設定された場合に、当該設定されたバックライト設定値に基づいて、画面の表示領域の境界部で色再現性が所定以上低下する領域を判定する判定ステップと、
前記色再現性が所定以上低下する領域が識別可能なように画面に表示を行う表示制御ステップを有することを特徴とする映像表示装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明の一実施形態の映像表示装置は、画面の表示領域毎にバックライト設定が行える映像表示装置であって、前記表示領域毎にバックライト設定値を設定する設定手段と、前記設定手段によって前記表示領域毎に異なるバックライト設定値が設定された場合に、当該設定されたバックライト設定値に基づいて、画面の表示領域の境界部で色再現性が所定以上低下する領域を判定する判定手段と、前記色再現性が所定以上低下する領域が識別可能なように画面に表示を行う表示制御手段を備える。